

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 潔
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部副部長 (氏名) 牧野 裕幸
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東 名

TEL 0587-95-5211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	106,146	—	6,581	—	7,390	—	4,912	—
20年3月期第1四半期	106,449	13.8	7,918	98.7	8,313	84.2	5,645	145.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	54.42	54.34
20年3月期第1四半期	62.78	62.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	272,559	164,257	59.3	1,788.06
20年3月期	270,873	161,950	58.6	1,758.34

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 161,495百万円 20年3月期 158,698百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	23.00	—	25.00	48.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	206,000	—	9,900	—	10,800	—	7,300	—	80.82
通期	431,000	△2.0	25,600	△23.3	27,000	△21.5	18,800	△11.7	208.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 94,234,171株 20年3月期 94,234,171株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 3,915,383株 20年3月期 3,979,286株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 90,279,033株 20年3月期第1四半期 89,931,162株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月25日に公表いたしました連結業績予想は、当第1四半期連結会計期間において、第2四半期連結累計期間、通期とも修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の世界経済は、原油、原材料や食糧価格の高騰の影響で景気拡大の流れが変化したことにより、減速感が強まりました。

自動車業界におきましては、日欧米の先進国では消費低迷の煽りを受け、自動車販売台数が伸び悩んでいるものの、BRICs、中近東では、経済成長に支えられ、自動車販売台数が堅調に推移しました。

このような環境の中で、当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、連結売上高はスイッチ類やステアリングホイールなどの販売が減少したため、106,146百万円と、前年同四半期に比べ303百万円(0.3%)減少し、利益につきましては、合理化・拡販努力を行ったものの、円高や人件費増などの影響の結果、連結営業利益は6,581百万円と、前年同四半期に比べ1,337百万円(16.9%)、連結経常利益は7,390百万円と、前年同四半期に比べ923百万円(11.1%)、連結四半期純利益は4,912百万円と、前年同四半期に比べ733百万円(13.0%)それぞれ減益となりました。

a 事業の種類別セグメントの業績は、次の通りであります。

(自動車用部品事業)

自動車用部品事業はスイッチ類、ステアリングホイールなどの売上が減少し、売上高は104,355百万円と前年同四半期に比べ867百万円(0.8%)の減収となりました。

(一般電機部品及びその他の事業)

一般電機部品及びその他の事業は、売上高は1,790百万円と前年同四半期に比べ563百万円(45.9%)の増収となりました。

b 所在地別セグメントの業績は、次の通りであります。

(日本)

円高による売上高の減少はあるものの、拡販活動などにより、売上高は75,402百万円と前年同四半期に比べ631百万円(0.8%)の増収となりました。営業利益は、合理化等に積極的に取組んだものの、円高や人件費増などの収益圧迫要因があり、2,833百万円と前年同四半期に比べ1,899百万円(40.1%)の減益となりました。

(北米)

客先生産台数の減少などにより、売上高は20,146百万円と前年同四半期に比べ4,457百万円(18.1%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより、444百万円と前年同四半期に比べ454百万円(50.5%)の減益となりました。

(アジア)

中国子会社の売上高増加などにより、売上高は15,146百万円と前年同四半期に比べ1,253百万円(9.0%)の増収となりました。営業利益は、増収効果などにより、2,509百万円と前年同四半期に比べ595百万円(31.1%)の増益となりました。

(その他の地域)

売上高は7,050百万円と前年同四半期に比べ348百万円(4.7%)の減収となりました。営業利益は、372百万円と前年同四半期に比べ84百万円(18.5%)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は272,559百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,686百万円増加いたしました。

これは、新規連結子会社の増により、有形固定資産が増加したことなどによるものです。

(負債)

負債は108,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ621百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は164,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,307百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加4,912百万円と、配当金の支払による減少2,256百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の58.6%から59.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、34,013百万円となり、前連結会計年度末より1,406百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7,652百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益7,390百万円、減価償却費4,461百万円等による増加と、仕入債務の増減額4,522百万円、法人税等の支払額4,314百万円等による減少の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6,055百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6,124百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,291百万円となりました。これは主に配当金の支払額2,255百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の経済状況を踏まえ、当第1四半期連結会計期間において、第2四半期連結累計期間、通期の業績予想を、連結・個別とも修正しております。

詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（たな卸資産の評価方法）

四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し前連結会計年度に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法によっております。

（繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ141百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、従来の方法によった場合に比べ、所在地別セグメント情報の「日本」の営業利益が141百万円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ20百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、従来の方によった場合に比べ、所在地別セグメント情報の「アジア」の営業利益が9百万円、「その他の地域」の営業利益が11百万円それぞれ減少しております。

④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」

（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結財務諸表からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,743	19,695
受取手形及び売掛金	66,059	68,858
有価証券	14,083	18,652
製品	6,855	7,256
原材料	754	619
仕掛品	12,676	12,288
その他	17,436	13,182
貸倒引当金	△131	△130
流動資産合計	140,479	140,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,753	27,148
機械装置及び運搬具（純額）	30,486	30,782
その他（純額）	27,043	26,043
有形固定資産合計	85,283	83,974
無形固定資産		
のれん	197	—
その他	2,214	2,229
無形固定資産合計	2,412	2,229
投資その他の資産		
投資有価証券	30,571	30,444
その他	13,927	13,861
貸倒引当金	△115	△59
投資その他の資産合計	44,383	44,247
固定資産合計	132,079	130,452
資産合計	272,559	270,873

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,073	55,442
短期借入金	4,675	3,842
未払法人税等	1,372	4,011
賞与引当金	3,830	5,602
製品保証引当金	2,977	2,889
その他の引当金	79	259
その他	23,104	18,258
流動負債合計	88,114	90,306
固定負債		
長期借入金	780	—
退職給付引当金	17,599	17,182
その他の引当金	417	605
負ののれん	—	16
その他	1,391	811
固定負債合計	20,188	18,616
負債合計	108,302	108,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,142	25,130
利益剰余金	118,214	116,204
自己株式	△7,045	△7,160
株主資本合計	159,167	157,031
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,812	1,525
為替換算調整勘定	515	141
評価・換算差額等合計	2,327	1,666
新株予約権	232	187
少数株主持分	2,529	3,064
純資産合計	164,257	161,950
負債純資産合計	272,559	270,873

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	106,146
売上原価	91,325
売上総利益	14,821
販売費及び一般管理費	8,240
営業利益	6,581
営業外収益	
受取利息	196
受取配当金	89
持分法による投資利益	78
為替差益	521
その他	120
営業外収益合計	1,006
営業外費用	
支払利息	127
その他	70
営業外費用合計	197
経常利益	7,390
税金等調整前四半期純利益	7,390
法人税等	2,231
少数株主利益	246
四半期純利益	4,912

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	7,390
減価償却費	4,461
のれん及び負ののれん償却額	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,801
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△118
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△192
受取利息及び受取配当金	△286
支払利息	127
為替差損益 (△は益)	△695
持分法による投資損益 (△は益)	△78
有形固定資産除売却損益 (△は益)	116
売上債権の増減額 (△は増加)	3,889
たな卸資産の増減額 (△は増加)	495
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,522
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△143
その他	3,114
小計	11,782
利息及び配当金の受取額	312
利息の支払額	△129
法人税等の支払額	△4,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,124
有形固定資産の売却による収入	45
投資有価証券の取得による支出	△1
投資有価証券の売却による収入	30
貸付けによる支出	△47
貸付金の回収による収入	40
その他	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△463
リース債務の返済による支出	△11
配当金の支払額	△2,255
少数株主への配当金の支払額	△694
自己株式の取得による支出	△1
その他	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,486
現金及び現金同等物の期首残高	35,419
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	80
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,013

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	65,039	20,117	13,945	7,043	106,146	—	106,146
(2) セグメント間の内部売上高	10,362	28	1,200	6	11,598	△ 11,598	—
計	75,402	20,146	15,146	7,050	117,744	△ 11,598	106,146
営 業 利 益	2,833	444	2,509	372	6,160	420	6,581

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計
I 海外売上高	20,075	15,416	7,290	42,782
II 連結売上高				106,146
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 18.9	% 14.5	% 6.9	% 40.3

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前四半期にかかる財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

（単位：百万円）

科 目	前年同四半期 （平成20年3月期 第1四半期）
	金額
売 上 高	106,449
売 上 原 価	90,523
売 上 総 利 益	15,926
販売費及び一般管理費	8,007
営 業 利 益	7,918
営 業 外 収 益	737
受取利息配当金	201
持分法による投資利益	99
為替差益	260
その他の営業外収益	175
営 業 外 費 用	342
支払利息	138
その他の営業外費用	204
経 常 利 益	8,313
特 別 利 益	296
固定資産売却益	10
投資有価証券売却益	286
税金等調整前四半期純利益	8,609
法 人 税 等	2,740
少 数 株 主 利 益	223
四 半 期 純 利 益	5,645

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

（単位：百万円）

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区 分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,609
減価償却費	4,153
のれん及び負のれん償却額	3
貸倒引当金の増減額	14
賞与引当金の増減額	3,039
役員賞与引当金の増減額	73
製品保証引当金の増減額	30
退職給付引当金の増減額	△ 203
役員退職慰労引当金の増減額	△ 62
受取利息及び受取配当金	△ 201
支払利息	138
為替差損益	△ 476
持分法による投資利益	△ 99
有形固定資産売却・除却損	46
売上債権の増減額	2,379
たな卸資産の増減額	635
仕入債務の増減額	△ 3,024
未払消費税等の増減額	△ 177
役員賞与支払額	△ 258
その他	1,093
小 計	15,714
利息及び配当金の受取額	241
利息の支払額	△ 139
法人税等の支払額	△ 4,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,326
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び満期償還による収入	2,400
有形固定資産の取得による支出	△ 5,007
有形固定資産の売却による収入	47
投資有価証券の取得による支出	△ 1
投資有価証券の売却による収入	379
貸付けによる支出	△ 41
貸付金の回収による収入	32
その他	△ 315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,505
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	17
配当金の支払額	△ 1,799
少数株主への配当金の支払額	△ 145
自己株式の取得による支出	△ 2
その他	107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,822
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	563
V 現金及び現金同等物の増減額	7,562
VI 現金及び現金同等物期首残高	29,894
VII 現金及び現金同等物四半期末残高	37,456

(3) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

(単位：百万円)

	日 本	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,336	24,564	12,160	7,389	106,449	—	106,449
(2) セグメント間の内部売上高	12,435	39	1,733	9	14,217	△ 14,217	—
計	74,771	24,603	13,893	7,398	120,667	△ 14,217	106,449
営 業 費 用	70,039	23,705	11,978	6,941	112,664	△ 14,133	98,530
営 業 利 益	4,732	898	1,914	456	8,002	△ 83	7,918

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

(単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計
I 海外売上高	24,511	13,466	7,576	45,555
II 連結売上高				106,449
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 23.0	% 12.7	% 7.1	% 42.8

6. 連結売上高明細

(単位：百万円)

部 門	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		増 減	増減率	(参考)前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)		
	金 額	構成比	金 額	構成比			金 額	構成比	
自動車用部品事業	スイッチ類	38,357	36.0	37,253	35.1	△ 1,104	△ 2.9	157,116	35.7
	シートベルト	23,001	21.6	23,063	21.7	62	0.3	94,421	21.5
	キーロック	21,554	20.3	21,662	20.4	108	0.5	90,715	20.6
	シフトレバー	7,974	7.5	8,570	8.1	596	7.5	33,675	7.7
	ステアリングホイール	4,392	4.1	3,671	3.5	△ 721	△16.4	17,032	3.9
	自動車用ミラー	3,442	3.2	3,540	3.3	98	2.8	15,060	3.4
	装 飾 品	1,309	1.2	1,351	1.3	42	3.3	5,423	1.2
	そ の 他	5,190	4.9	5,241	4.9	51	1.0	21,129	4.8
小 計	105,222	98.8	104,355	98.3	△ 867	△ 0.8	434,574	98.8	
一般電機部品及びその他の事業	1,227	1.2	1,790	1.7	563	45.9	5,426	1.2	
売 上 高 合 計	106,449	100.0	106,146	100.0	△ 303	△ 0.3	440,001	100.0	